

# なんば広場の安全管理に関するデジタル技術の活用方策に係る検討調査

## ■ 現状の課題

- ・ほこみち指定でより賑わいのあるイベントで人が集まることが想定されるなんば広場では、安全安心のより一層の向上に向けて、人流の変化、混雑状況、利用状況などを、リアルタイムでのより効果的・効率的に把握のもと、適切な対応をしていく必要がある。
- ・広場の収支事業性を高めるには、広場部分の警備員の負担低減や、なんさん通りの交通規制の徹底・交通誘導員の効率化による人件費の圧縮を図る必要がある。

## ■ DX技術の活用による対応

なんば広場において、DX技術を活用した効果的・効率的な空間の把握（人の状況）・管理（利用空間の警備・指導、自動車交通の交通管制など）に向けて、様々な技術の収集と当該広場での適用の可能性を整理した構想を作成するとともに、具体的な検証取組みについて検討を行う（※御堂筋で実施されているDXの取組みとの連携についても検討）

### (1) AIカメラの活用による歩行者交通量等の把握

- 1) なんば広場の各断面交通量や、利活用区域の滞留者数をカウントすることにより、広場利用の実態把握（イベントの実施の有無・時間帯・季節・天候等による人流変化、雑踏密度など）のリアルタイムの把握を実施【確実に確認できる内容】  
⇒イベント時の安全性の向上や、利用状況や傾向を踏まえたイベント施設の配置検討、サイネージの配置時の検証などに活用する。
- 2) なんば広場での人の動きに関して、自転車の乗車や、スケートボードの利用などの不適切な利用をAIカメラでの認識システムのテスト実証を実施【試験的な実施】  
⇒なんば広場での警備員による状況把握の代替的機能としての活用の可能性を検討する。

### ■ AIカメラ設置イメージ図

【なんば広場 平面図】



### (2) 新しいDX技術を活用した効果的・効率的な空間の管理に向けた検討

#### 1) なんば広場での適用が考えられるDX技術の整理（事例収集を含む）

- ・広場に配置するAIカメラの実績、先行事例の整理等、現在活用されているDX技術の収集（警備員の代替とできるDX技術：AIカメラの検知機能や、これに連動した注意喚起システム（自動音声、ロボット技術等））
- ・当地区の特性（維持管理を実施する区域、実施内容、収支採算性等）を踏まえ、導入すべきDX技術の検討

#### 2) DX技術を活用した効果的・効率的な空間の管理に係る検討

- ・DX技術活用による警備員の負担軽減による人件費の圧縮策（DX技術を活用することで、どれだけ管理運営費が縮減できるかの検討）、なんさん通りの交通規制の徹底・交通誘導員の効率化についての検討

（例）ナンバープレート検知により自動開閉するゲート設置、時間帯によって交通規制が変わるなんさん通り端末部へのライジングボード設置等

#### 3) なんば広場におけるDX技術活用に係る構想の策定

- ・なんば広場におけるDX技術の活用に向けた構想の作成を行う

